

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称	
265		遺家族等援護事業	01		一般会計	
			03		民生費	
基本施策	7	老後の生活や低所得者の自立を支える	01		社会福祉費	
			01		社会福祉総務費	
担当部課名		島ヶ原支所 健康福祉課	104		遺家族等援護関係経費	
作成者氏名	脇坂 長充	連絡先	0595-59-2163	細々目	01	遺家族等援護関係経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	島ヶ原遺族会及びその家族	会員の福祉の増進を支援し、会員相互の交流を図る。
本年度事業内容	遺族会事業への補助金(平成17年度まで) 18年度から遺族会が伊賀市で一本化し、会の運営補助金も本庁で交付される。	
開始年度	平成 16 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等		

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	290	0	0
負担金、補助及び交付金	290		
その他			
合計(A+B)	1,010	720	720
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	1,010	720	720
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
遺族会の事業の運営補助金	円	290,000	-	-			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
遺族会の事業実績報告及び決算報告書	事業実績報告のなかの国、県、市の実施事業の回数や参加人数によって判断する。	円	290,000 目標 ()	-	-
追悼式への参加者数	遺族会活動を示す指標となる	人	20 目標 (20)	20	20

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

平成18年度から遺族会が伊賀市で一本化されるため、事業の運営補助金も本庁から交付されることになった。
--

評価	必要性	4	執行方法等の変更がされる。遺族会活動への助成であり、英霊の顕彰と遺族の福祉増進のための諸活動に活用された。伊賀市として組織が統一されたため補助金の支払い方法が見直された。平成18年度から本庁の支払いとなる。遺家族に対する業務は弔慰金事務等補助金支給事務以外に今後も必要である。 <th rowspan="4">総合評価</th>	総合評価
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	3		
				A